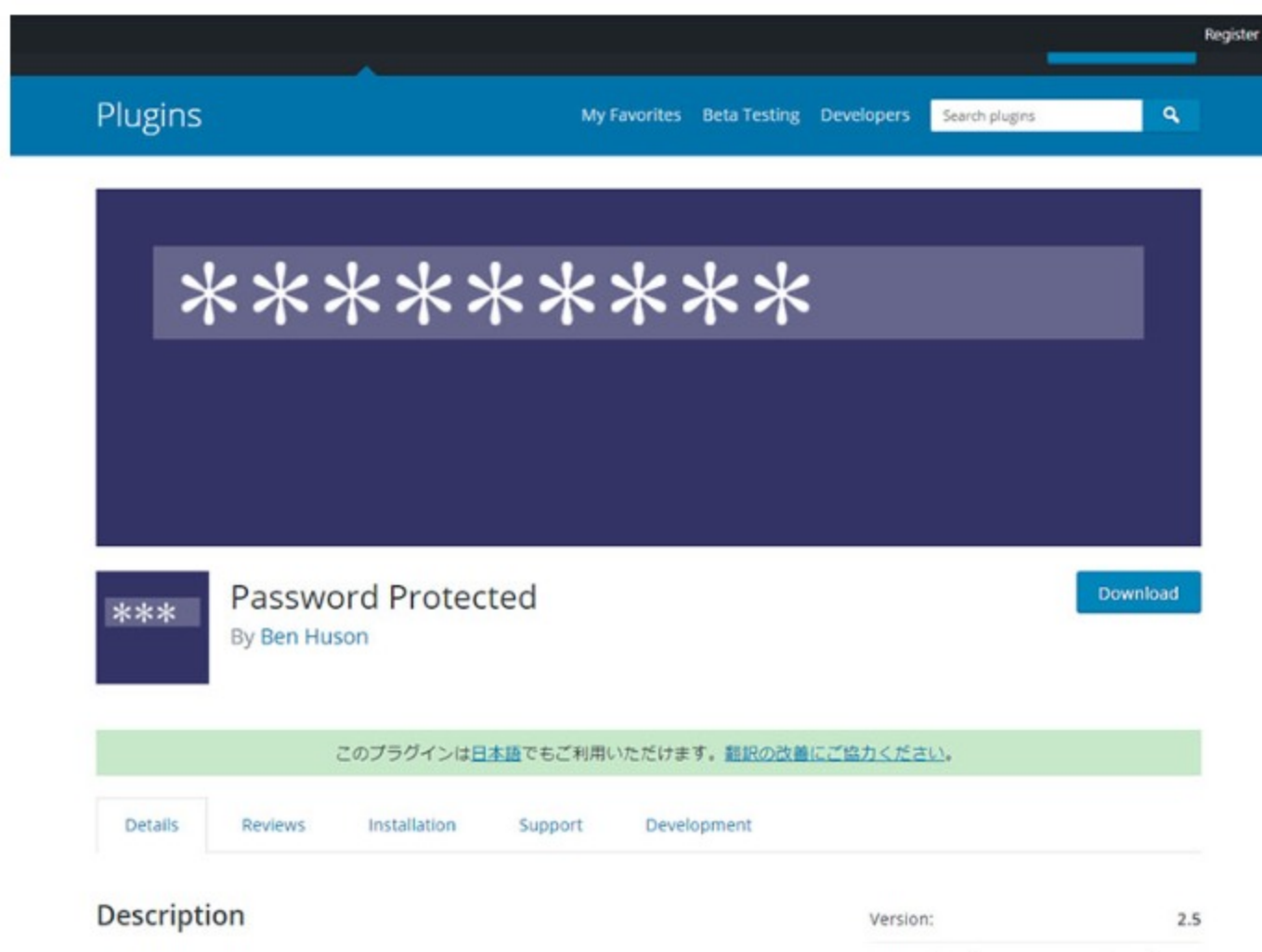


# Webサイトにパスワードを設定して閲覧を制限できる「Password Protected」無料プラグインのインストールから使い方



パスワード認証を行う方法として「Basic認証」が有名なプラグインですが、サーバーのファイルの書き換えが必要です。初心者にはこのプラグインは簡単な設定で良いと思われます。



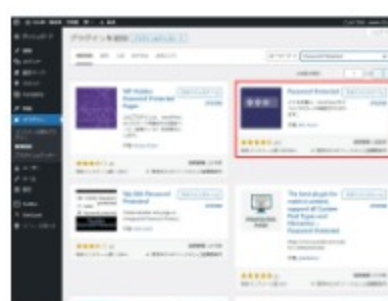
## 環境

環境データ項目	DATA
実施日	2021年秋（当時に作成されたデータです。）
プラグイン Ver	2.5※バージョンによっては説明に食い違が生じます。
WordPress Ver	5.81
PHP Ver	7.4

STEP  
1

## プラグインインストール

プラグイン「新規追加」より「Password Protected」と入力検索後インストール。  
その後の流れは他のプラグイン同様です。



STEP  
2

## 初期設定

設定>パスワード保護にて初期設定を行います。

- 「パスワード保護の状況」にチェックを入れる
- 「新しいパスワード」に設定したいパスワードを2回入力する
- 「変更を保存」を押す



パスワード保護の状況：チェックを入れると、パスワード認証を有効化。

許可する権限：認証無しでサイトにアクセスできる権限の設定です。管理者、ログインユーザーはチェックをつけても良いと思います。

新しいパスワード：サイト全体にかけるパスワードを2回入力します。

許可する IPアドレス：入力したIPアドレスから認証無しでアクセスできるようになります。限られた人（上司等）

二度目以降は不要にする：チェックを入れると認証画面で「ログイン状態を保存する」のチェックボックスが表示されます。一定期間パスワードを入力せずともサイトにアクセスできて便利です。

許可を保持する日数：上記にチェック入れた場合のパスワードを入力しなくてよい日数を入力します。お好みで！



アクセス権限の必要な状態